

令和2年5月26日

生徒・保護者の皆さんへ

京都府立北嵯峨高等学校  
校長 國府 功

### 学校再開にあたって

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年と異なる形で一学期の始業式や入学式を実施しましたが、その直後に学校が臨時休業に入ってしまった。緊急事態宣言の中、保護者の皆様におかれましては、不安と戸惑いのもとで日々を過ごされたことと推察いたします。明けぬ夜はないとはいえ、出口が全く見えない中で、生徒の皆さんは、ひたすら学校再開に向け自らのモチベーションを維持し、学習の励行、体力の保持に努力してくれていたのではないのでしょうか。

さて、本校では学校再開に向けて登校可能日や登校日を設定し、生徒諸君の健康状態や学習課題の確認等のサポートに努めてまいりましたが、いよいよ6月1日（月）より学校が再開されることとなりました。すぐには、元の状態には戻れないにしても、準備段階を経て着実に前進していることと思います。この休業期間中にインターハイや夏の甲子園大会の中止、また文化系においては全国総合文化祭やコンクール等の中止が発表されました。特に三年生には、青春のすべてをここに懸けてきたと言っても過言ではないという生徒諸君もいることでしょう。また、保護者の皆さんは、お子様の喪失感に掛ける言葉が見つからないというのが正直なお気持ちではないのでしょうか。少し時間をおき、気持ちの整理をして、次の行動へ歩を進めていただきたいと思います。前を向いていきましょう。

これから皆さんは、二ヶ月間という遅れを取り戻さなければなりません。過ぎ去った時間は戻ってきませんが、その分皆さんは、今までに身につけた集中力を発揮して、逆境に「強い北嵯峨」見せつけようではありませんか。今まで以上に、私たち教職員もできることを精一杯やりながら、サポートしていきます。

新型コロナウイルスの感染が収束したわけではありませんが、これからは、皆さんと落ち着いた学校生活が続けられるようにコロナウイルス対策を意識しながら「新しい行動様式」を取り入れ、学校生活の中で実践していかなければなりません。そして、学校というひとつの空間の中でソーシャルディスタンスを守りつつもお互いの心は寄り添いながら、学校生活の再スタートを切りたいと思います。

最後になりましたが、、残念なことに新型コロナウイルス感染症に関する SNS での誹謗中傷が繰り返されているというニュースを耳にします。そのような誹謗中傷は、人の心を深く傷つけるばかりでなく、重大な人権侵害です。また、憶測やデマに惑わされることなく冷静に行動すると共に偏見や差別を生むことなく、誰もが安心して学校生活を送れるように人権を大切にす行動をとるよう切に願っています。

保護者の皆様におかれましては、感染リスクに大きな不安を感じておられる方もいらっしゃると思います。学校と致しましても最大限の感染予防対策を講じ、新たな行動様式の確立に努めていく所存でございます。どうぞ御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。